

うさぎまつり

4月2日、高木学童保育うさぎクラブでうさぎまつりが開催されました。「子どもたちが作る小さな文化祭」をテーマに、会場にはカレー屋やおかし屋、不用品バザーなどさまざまな屋台が並びました。指導員の木村みち子さんは「今回は初の試みだったが、子どもたちが自分たちで準備し、自分たちでつくる祭りができた。地域の方との交流ができてよかった」と話していました。子どもたちは声を揃えて「楽しかったー！」と笑顔を見せていました。



たくさんの屋台が並びました



林田能寛の墓前で思い悩んでいる様子

能寛祭

4月4日、30回目の林田能寛祭が開催されました。五人の先哲の一人である林田能寛は、熊本と宮崎を結ぶ日向往還の八勢川に、独自の資金を投じて1855年(安政2年)3月に八勢目鑑橋を完成させました。林田能寛顕彰会が主催。林田家の墓地がある御船5丁目妙琺寺の墓前で供養後、雨天のため妙尊寺(上野)で約40名が出席するなか、神事が執り行われました。顕彰会会長の竹内昭剛さんは「後世に引き継いでいく責務があるので、今後も続けていきたい」と話しました。



町内外から多くの人を訪れる種いも市

種いも市

4月5日、毎年4月1日から5日ごとに開催されている御船の伝統行事「種いも市」が、御船川河川敷で行われました。市は約370年続いていると言われており、朝早くからたくさんのお客さんが色々な種類の種いもを求め、会場を訪れました。毎年来ている緒方京子さん(甲佐町)は「ここで買った種いもはとてもおいしいので、たくさん育てています」と笑顔で話しました。地域の中だけでなく、町外にも繋がりが広がる種いも市。これからもこの伝統を大事にしたい。



贈呈式終了後、記念撮影

トンネル工事で贈呈式

4月12日、高木小学校(岩下育男校長・97人)でキンボールコンペセット、スピーカー、教材提示装置の贈呈式が行われました。これらを寄贈したのは、平成30年度に供用開始予定の小池高山IC～北中島IC(仮称)区間にある、九州中央自動車道高木トンネル工事を施工した前田建設工業株式会社九州支店。作業所長の金子和己さんは「社会体育の増進や学習支援に役立ててほしい。工事は地域の協力のできたもの。子どもたちからの応援もすごく支えになりました」と話しました。

平成28年 消防団通常点検



磨き上げられた心・技・体

4月3日、御船町消防団(内村光宏団長・416人)による通常点検が御船中学校グラウンドで開催されました。新入団員17人に辞令が交付され、代表して第6分団第6班の永濱久嗣団員が新入団員宣誓を述べました。今年度は2年に1度の小型ポンプ操法競技が行われ、団員は日頃の訓練の成果を発揮し、点数を競い合いました。その後の通常点検では、動作や規律などが審査されました。

各部門の上位結果と表彰は次のとおりです。



- 成績
- 総合の部
 - ① 第9分団(小坂)
 - ② 第2分団(滝尾)
 - ③ 第1分団(御船)
 - 通常点検の部
 - ① 第9分団(小坂)
 - ② 第2分団(滝尾)
 - ③ 第1分団(御船)
 - 操法競技の部
 - ① 第4分団第1班(七滝)
 - ② 第2分団第1班(滝尾)
 - ③ 第9分団第3班(小坂)
 - 機械器具点検の部
 - ① 第1分団第1班(御船)
 - ② 第1分団第4班(御船)
 - ③ 第9分団第4班(小坂)
 - 機械器具点検の部(総合)
 - ① 第1分団(御船)
 - ② 第9分団(小坂)
 - ③ 第2分団(滝尾)
 - 年間出場率の部
 - ① 第6分団(田代)
 - ② 第4分団(七滝)
 - ③ 第2分団(滝尾)

- 1_ 消防団員による入場行進
- 2・3_ 幼年消防隊の通常点検
- 4_ グラウンドに集まった消防団の積載車
- 5_ 通常点検
- 6_ 新入団宣誓
- 7・8・10_ 操法競技
- 9_ 通常点検



※今年の上益城郡消防大会は熊本地震のため中止となりました。

